

ハートチェック®サービスに関するお問い合わせ

✉ ハートチェック®サポートメール：heartcheck@anisapo.com

受付時間外のお問い合わせは、翌営業日以降の返信となります。
お問い合わせの内容により、回答を差し上げるのに時間をいただく場合があります。

☎ サポートダイヤル：0120-080-950

通話料無料、携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
番号をよくお確かめの上、お間違いのないようおかけください。

受付時間（お問い合わせ共通）

🕒 9：00～17：00

土曜日・日曜日・祝日・年末年始・弊社休業日を除きます。
弊社営業日につきましては、あにさぽ®サイトの「お問い合わせ」ページをご参照ください。
<https://anisapo.com/contact.php>

マニュアルや動画は、
あにさぽ®サイト上からご確認いただけます。



<https://anisapo.jp/heartcheck/mov/manual01/>

動物用医療機器 一般医療機器

ハートチェック® AAHC-1000

（一般的名称 心電計）



取扱説明書

目次

【装置設置・測定方法】

- 1. 構成品一覧 P. 1
- 2. 心電計本体の使用環境について (設置場所のご注意点) P. 2
- 3. 使用前の準備 P. 3
- 4. 測定の手順 P. 6
- 5. 電源の切り方 P. 9
- 6. 電極シートについて P. 9

【お問い合わせ】

- ハートチェック®サービスに関するお問い合わせ P.10

1 構成品一覧



本体セット

①	心電計本体	1台
②	誘導コード (赤・黒・緑)	1束
③	アースコード (白)	1束
④	電極シート	1枚
⑤	ACアダプター	1個

通信ドングル

⑥	ドングル (ONYX LTE USB Dongle)	1個
---	----------------------------	----

※本体セットには含まれておらず別箱となります。
※写真は実寸比とは異なります。



2 心電計本体の使用環境について 設置場所のご注意点

ACアダプターは単独でコンセントに接続してご利用ください。

ACアダプターと他の電気機器を同じコンセントで使用した場合、コンセントを介して心電計本体にノイズが流入し、正しいデータが得られない場合があります。正しいデータが得られない場合には、接続するコンセントの変更や、心電計本体使用时には他の電気機器を使用しない等の対応をご検討ください。延長コードや追加のマルチタップを使用しないでください。

携帯電話の電波を受信できる場所をご利用ください。

心電計本体から測定データをNTTドコモの回線を使用して解析用サーバーに送信します。

強い電波を発する装置の近くでは使用しないでください。

心電計本体から測定データをNTTドコモの回線を使用して解析用サーバーに送信します。心電計本体の周辺に無線装置等の強い電波を発する装置がある場合、測定データを送信できない場合があります。

【禁忌・禁止】

- 高圧酸素治療装置内では使用しないでください。[爆発または火災を起こすことがあります。]
- 可燃性麻酔ガス及び高濃度酸素雰囲気内では使用しないでください。[爆発または火災を起こすことがあります。]

3 使用前の準備

③-1 心電計本体へのドングルの差し込み

ドングルのキャップを外し、**下図のように**心電計本体側面のドングル差し込み口にドングルをしっかりと差し込んで接続してください。



ドングル差し込み後の状態

ドングルは、文字のない面が上になるように差し込んでください

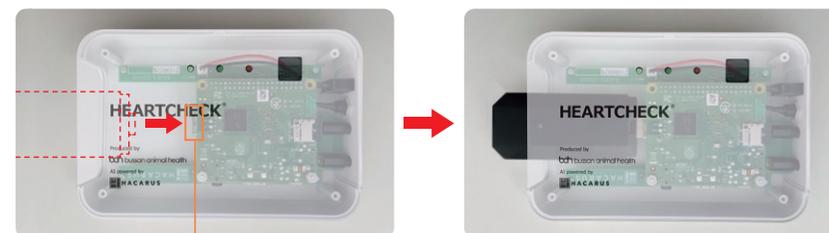


ドングル裏面(こちらが上になるように)



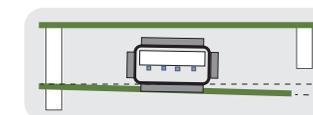
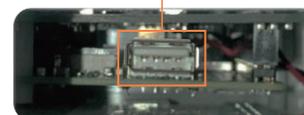
ドングル表面

装置内部図 差し込み口が装置内部奥にあります。



ドングル差し込み口

※差し込み口に少し傾斜が付いている場合があります

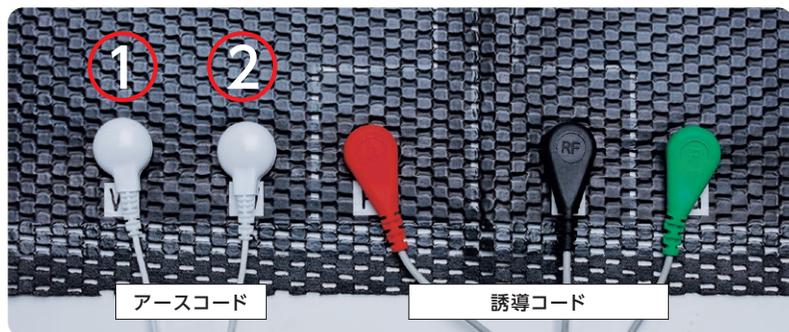


約2°

差し込みが難しい場合は、無理に差し込まずP10のお問い合わせ先までご連絡ください。

③-2 電極シートへの誘導コード・アースコードの差し込み

下図のように電極シートに誘導コードとアースコードをしっかりと差し込んで接続してください。白のアースコードは①②どちらに差し込んででも問題ありません。



コード差し込み後の状態

③-3 心電計本体への誘導コード・アースコードの接続

下図のように心電計本体の誘導コード接続コネクタに誘導コードを、アースコード接続コネクタにアースコードをつないでください。コードは奥までしっかりと差し込まれていることを確認してください。



コードの接続位置

③-4 心電計本体へのACアダプターの接続

心電計本体ACアダプター接続コネクタにACアダプターを接続してください。



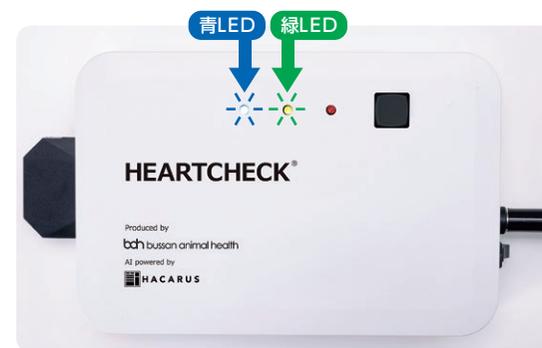
ACアダプターを接続した状態

③-5 コンセントを差し込む

ACアダプターをコンセントに差し込んでください。

③-6 電源スイッチを入れ起動の確認

心電計本体側面の電源スイッチをONにして、青LEDが点灯するのを確認してください。しばらく待機すると(約30秒~1分)、緑LEDが点灯して起動が完了し、測定可能な状態となります。



緑LEDが点灯して測定可能になった状態

※3分程待機しても緑LEDが点灯しない、もしくは赤LEDが点滅する場合は心電計本体側面に挿入したドングルが認識されていない可能性があります。

③-1 心電計本体へのドングルの差し込みを再度ご確認の上、それでもなお赤LEDが点滅する場合は、P10のお問い合わせ先までご連絡ください。

4 測定の手順



測定の流れ

最初に動画を見ていただくことをお勧めします

① 準備

● 緑LED点灯 測定動物の肉球を濡らす

※導電性を高めて安定した心電を測定するために、肉球をアルコールや水などで十分に濡らしてください。

例：1肢に対しスプレー1プッシュ

※濡らし方が充分でない場合は、肉球と電極シートが十分に接触せず、かつ微弱な電流を捉えられなくなる可能性があります、測定不能となることがあります。



② 配置・保定

● 緑LED点灯 測定動物の配置・保定

※肉球を濡らした後、測定動物を下図のように指定の場所に配置してください。

※**頭の向きにご注意ください**。向きが異なると測定できません。

※肉球が電極シートに密着するように、また測定動物があまり動かないように、軽く保定してください。

※肢が他のエリアにはみ出したり、またがないようにしてください。

※液体が電極のエリアをまたいでしまうと測定できません。

※測定者や保定者が電極シートに触れないようにしてください。



頭の向きにご注意ください



<測定時の注意>



肢がエリアをまたがない

液体がエリアをまたがない

電極シートに触れない

③ 測定開始 (測定開始ボタンを押す)

● 緑LED点灯→点滅 測定動物が動かないように軽く保定

※測定開始ボタンを、緑LEDが点滅に変わるまでしっかりと押してください。



④ 測定中

● 緑LED点滅 (約30秒) 測定動物が動かないように軽く保定

※緑LEDが点滅中は測定中です。肉球が電極シートに密着するように、また測定動物があまり動かないように、軽く保定してください。AI判定は測定中のノイズを除去した波形で解析を行います (測定時間：約30秒)。

※肢が他のエリアにはみ出したり、跨がないようにしてください。

※測定者や保定者が電極シートに触れないようにしてください。

⑤ データ送信

● 緑LED高速点滅 保定の必要はありません

※緑LEDが点滅から高速点滅になると、本体から解析用サーバーへ測定データを送信している状態になります。

※測定は終了していますので、測定動物が電極シートから動いても離れても問題ありません。

⑥ 測定終了

● 緑LED点灯 次の測定が可能です

※測定データの送信が終了すると緑LEDが点灯状態に戻り、次の測定が可能になります。



⑦測定結果確認

あにさぽ®ハートチェック®サイト上で測定結果を確認できます。

※あにさぽ®ハートチェック®サイトからログインの上、測定結果をご確認ください。 ※測定結果の確認方法については、下記のハートチェック®マニュアルサイトからご確認ください。



<https://anisapo.com>



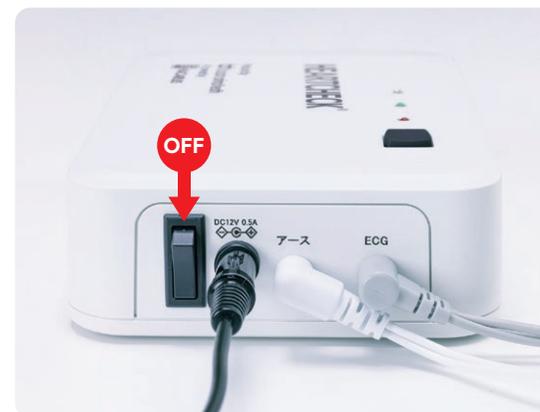
<https://anisapo.jp/heartcheck/mov/manual01/>

LEDの状態一覧

青LED	緑LED	赤LED	測定可否	状態
●	●	●	×	電源が入っていません。電源スイッチの状態、ACアダプターの接続をご確認ください。
●	●	●	×	起動中のため、青色LEDが点灯するまでお待ちください。
●	●	●	○	測定が可能です。測定開始ボタンを押すと緑LEDが点滅し始め測定を開始します。点滅が始まらない場合はボタンを押しなおしてください。
●	●	●	×	測定中です。この状態の間は、動物を電極シートから離さないでください。この間に測定開始ボタンを押しても状態は変わりません。
●	●	●	×	測定が終了し、解析用サーバーと通信を行っています。この状態になりましたら、動物を電極シートから離しても問題ありません。この間に測定開始ボタンを押しても状態は変わりません。
●	●	●	×	ドングルが認識されていない可能性があり測定できません。本体側面より挿入したドングルが、本体と正しく接続されていない可能性があります。③-1心電計本体へのドングルの差し込みを再度確認の上、それでもなお赤LEDが点滅する場合はP10のお問い合わせ先までご連絡ください。
●	●	●	○	測定に失敗しておりAI解析ができません。再度測定してください。

5 電源の切り方

本体側面の電源スイッチをOFFにし、青LEDが消灯していることをご確認ください。
ACアダプターをコンセントから抜いてください。



左図のLEDの状況一覧をまとめたシールおよび電源の切り忘れを防止するための注意シールを同封しておりますので、必要に応じてご活用ください。



6 電極シートについて

電極シートは折りたたまず、丸めた状態で保管してください。
また、本装置の電極シートは、動物がストレスなく足をつけられるように柔らかいシートに導電性の膜を形成させる特殊な工程により製造しているため、シートの表面に皺が形成される場合があります。この皺は導電性に全く影響せず、品質規格に適合するものですので、安心してご使用ください。